

＝御言葉を豊かに住ませる＝

1. ころに御言葉を書き記す

1-1 切りだされる石達 ダニエル 2:32-44、イザヤ 51:1-2、1ペテロ 2:1-5

私たちは生ける石として世の中から切り出された。

1-2 切りだされた石達が行うこと。申 27:1-3、

⇒御言葉を豊かに住ませる。コロサイ 3:16、出エジプト 16:13-21

1-3 御言葉を豊かに宿していく過程で、石は宝石へと行って行く。

イザヤ 54:11-12、黙示録 21:19-20

2. 御言葉を豊かに宿すには？

2.1 主に心を向ける 2コリント 3:14-16、エゼキエル 33:13、エレミヤ 15:16

主は御自分に目を向けさせるため、試練を与えられる。

エレミヤ 15:16 (共同訳)

あなたの御言葉が見いだされたとき／わたしはそれをむさぼり食べました。あなたの御言葉は、わたしのもとなり／わたしの心は喜び躍りました。万軍の神、主よ。わたしはあなたの御名をもって／呼ばれている者です。

2.2 信仰の歩みにおいて、御言葉を心に宿すことを妨げる事例：主以外に心を奪われる。

⇒ 敵の策略も同じく、別のものに目を向けさせる。

例1 御言葉の解き明かしに関する論争や、その魅力にハマってしまう。箴言 30:5-6

例2 自分のことに関心が向き、主への一方的な願いになってしまう。

自分に向いている人の典型的な例：聞き入れられない、一方的な祈り ヨハネ 15:7

※ 主の御言葉を心に宿すと、ますます主との交わりが深くなる。

⇒ 主は御言葉で御自身を現される。1サムエル 3:21

3. 結論 詩 40:1-3

40:1 私は切なる思いで主を待ち望んだ。主は、私のほうに身を傾け、私の叫びをお聞きになり、

40:2 私を滅びの穴から、泥沼から、引き上げてくださった。そして私の足を巖の上に置き、私の歩みを確かにされた。

40:3 主は、私の口に、新しい歌、われらの神への賛美を授けられた。多くの者は見、そして恐れ、主に信頼しよう。